

会員向け啓発事業

■ 先進事例等視察

12社12名と事務局3名を含めた総勢15名の参加にて、スーパーエコタウン施設のうち、成友興業(株)、(株)タケエイ、中間貯蔵・環境安全事業(株)、東京都環境局中防合同庁舎の4か所の先進事例視察を実施いたしました。

「成友興業(株)」では、瓦礫類、コンクリート等の廃棄物処理を行っており、出来る限り再生品にする（最終処理量を少なくする）ために新たな技術を導入されておりました。実際に再生品を手に取り、非常に細かい粒になっていることに驚きました。また、環境分析センターを併設されており、土壌汚染評価など多様なニーズに対応できる仕組みが出来ていました。

「(株)タケエイ」は建築資材等の廃棄物処理を行っており、この会社も素材、エネルギー供給資源への再生取り組みがなされていました。最終的な廃棄物の分別は人の手でっており、現場を見させて頂き、その大変さを実感しました。

「中間貯蔵・環境安全事業(株)」は平成16年に政府が100%出資して設立された発がん性の高い物質であるPCB（ポリ塩化ビフェニール）廃棄物の処理施設です。全国にある5つの事業所で、高濃度PCBが処理されています。PCBは危険性が高いため運搬時にはGPSによるリアルタイムで運行状況を監視する安全対策がされていることに参加者の方々も驚いていました。

「東京都環境局中防合同庁舎」では東京都区内の家庭、お店、公共場などのごみ（廃棄物）のうち、処理・再加工出来ないものを最終的に埋め立てる処分場です。埋め立て処分場はどんどん広がってきているそうです。しかしながら、処理技術の発達と都区民の努力によってゴミの量は減少しているとの話を聞き、ゴミを出さない、無駄をなくす事が大切であると感じました。



(学)青山学院大学 佐久間

実施日：平成29年10月19日(木)

視察先：成友興業(株)城南島第二工場、(株)タケエイ 東京リサイクルセンター、中間貯蔵・環境安全事業(株) 東京PCB処理事業所、東京都環境公社

参加者：会員12人

■ 環境セミナー「化学物質対策について」

化学物質の管理や使用方法をひとたび誤れば、広範で深刻な環境問題になることから、事業者にとって管理・リスクアセスメントは極めて重要な事項である。そのため、本年度の環境セミナーでは、化学物質の適正な管理等をテーマに開催しました。



実施日：平成30年2月20日(火)

会場：市立環境情報センター 学習室

講師：相模原労働基準監督署 大須賀 徹氏 労働衛生コンサルタント 藤原 政志氏 環境保全課 職員

参加者：会員等56人